

令和4年度第1回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会議事録

①会議名：令和4年度第1回八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会

②開催日時：令和4年10月28日（金）10：00～11：30

③開催場所：須玉ふれあい館

④出席者：

・委員13名

白倉繁会長、小平雅彦副会長、小林昭治委員、和田正生委員、平出ユウ香委員、
古屋昭彦委員、小林俊一委員、堀内弘委員、三井悦子委員、細川強委員、
藤原真史委員、雨宮伊織委員、牛山徳康委員

・事務局

北杜市：市長、企画部長、企画課長、企画課計画担当、ふるさと納税課長、
人事課長、子育て政策課長、ネウボラ推進課長、観光課長、商工・食農課長、
林政課長、道路河川課長、生涯学習課長、中央図書館長、学術課長、
富士見町：副町長、総務課企画統計係長、総務課企画統計係、
原村：村長、総務課長、総務課企画振興係長

⑤欠席者：

・委員6名

石川高明委員、名取あゆみ委員、小倉佳美委員、時田源夫委員、中山貴之委員、
今井田紀子委員

⑥傍聴人：0名

⑦議題：

- ・会長、副会長の選任
- ・進捗管理について
- ・八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの変更について
- ・その他

⑧公開・非公開の別：公開

⑨審議内容：

・会長、副会長の選任

○会長に白倉繁委員、副会長に小平雅彦委員が選任された。

・「進捗管理について」、及び「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの変更について」

事務局：「進捗管理について」、及び「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの変更について」詳細説明。

委員：「出会いの機会創出事業」の事業内容の変更について、変更前までは、首都圏から独身の女性を招き、圏域の男性との出会いを創出する内容だったが、変更後は圏域内同士の出会いの創出も想定しているのか。

子育て政策課：変更前までは、バスを主体とした事業内容だったが、コロナ禍において実現が困難になったことから、バスに限定せずに幅広く事業を行えるように変更した。今後バスを利用することも選択肢からは排除せず、時代及びニーズの変化に合わせて、事業を計画していく。

委員：進捗管理の評価方法、及び冊子のまとめ方について、ビジョンの中で事業効果を示しているが、事業評価の効果の内容と結びついていないのではないかと。事業効果に則して、事業評価の効果を詳しく記載してもらいたい。

事業ごとの指標について、観光客の入込客数など事業の性質上、事業を実施できても、コロナ禍での指標の達成が実質困難なものがあると思う。一度ビジョンの中で設定した指標はこのまま維持するしかないと思うが、検証を行う上では、何か工夫する必要があるのではないかと。例えば、全県と圏域の観光入込客数の減少幅を比較してどうか、など、参考として別の数値目標を示すことで、ただコロナ禍で指標が達成できなかった、というだけではなく、他との比較により圏域の頑張りが見えるようにしてもよいのではないかと。検討してもらえたらと思う。

事務局：資料について、わかりやすくなるよう、来年度以降改訂など検討していく。

委員：図書館連携事業及び資料館連携事業について、良い取り組みだと思っているが、もう少し宣伝、周知を行い、もっと多くの人に見てもらえるといいのではないかと。コロナ禍で本を読む人が増えていることや、圏域3市町村の共通点として縄文の遺跡が見つかっている点などからも、圏域の住民にさらにこれらに関わってもらうことで、郷土愛の醸成が図られ、定住を望む人も増えると思う。ぜひこの2事業について頑張ってもらいたい。

中央図書館：3市町村において、展示という形で連携を行っており、昨年度は3回実施している。展示のテーマについては出尽くしていると感じるところもあるが、遺跡、ゆかりの作家、自然など、3市町村の様々な特徴や共通点をアピールできるように考えていきたい。今年度については、コロナ禍ではあるが、交流が活発になる

ように、スタンプラリーに取り組みたいと考えている。

学術課：資料館連携事業は、八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン当初から加わっており、ここ数年は、平成30年に日本遺産に指定されたこともあり、PRを兼ねて縄文遺跡をテーマに共同企画展を開催している。コロナ禍で客足が伸び悩んでいるが、事業を継続している成果として固定客ができたと感じており、今後も継続していきたい。指摘のとおり宣伝、周知不足は否めないと感じており、その点の強化を考えながら事業を展開していく。

委員：子育て応援フェスタ事業について、進捗管理には、令和3年度で事業終了と記載があり、ビジョンにはその点記載がないが終了で間違いはないか。

子育て支援施設相互利用事業について、利用者数をKPIとしているが、これは相互利用としての人数ではなく、純粋な施設利用者の人数となっている。この事業は相互利用を促す事業だと思っているが、相互利用を促すには何を必要があるか、相互利用している人数は今現在どれ程で、今後の目標としてはどう定めるのか。

事務局：子育て応援フェスタ事業は令和3年度まで事業を継続しており、令和2年度までは通常通り実施していることから、ビジョンにはそこまでの実績を掲載している。

ネウボラ推進課：現状、相互利用の人数について目標値は定めていない。ここ数年コロナ禍において、相互利用に制限もかかっており、相互利用の人数についての集計も行っていない。11月から、制限も緩和し、圏域内の交流が再開できるため、年度途中となり不十分ではあるがデータを取り始め、今後の目標値を定めていきたい。

子育て応援フェスタ事業について、一旦終了とはなったが、各施設においてNPO法人などの民間団体にイベントを開催していただくこともできるため、今後市町村としてもどう関わられるかを考えていきたい。

委員：移住を検討している人及び、移住をしたけれどイメージと合わず定住しなかった人への対策として、生活機能の強化の政策分野から考えたい。北杜市に立派なビーチバレーコートがあるが、富士見町、原村にまであまり周知できていないと思う。非常にもったいない。富士見町のマウンテンバイクの環境や、北杜市のスケートセンターなどもある。例えば3市町村のスポーツ推進委員や各種スポーツの団体などを通じて、今ある財産を圏域全体に周知、アピールしながら、さらには移住を考える人に、スポーツのできる環境、体が動かせる環境があるという観

点からの提案ができるようになると良いと思う。今既にある環境の中で、こんな生活もできるということを、記事などでアピールするだけで効果があると思う。図書館連携事業に関して、圏域のそれぞれの市町村に絵本作家などの様々な作家がまだまだいると思う。既に作品を出している作家だけでなく、今から作品を出すような作家についても、圏域内でゆかりのある作家の情報を共有し、図書館でイベントを開催していただければよいと思う。

生涯学習課：ビーチバレーコートは県内でも珍しい施設である。3市町村で活用できるような方策、また、PRについて検討していく。八ヶ岳スケートセンターについても、11月20日よりリニューアルオープンするので、教育委員会を通じ富士見町、原村の学校へも周知を行っている。また、学校だけでなく、圏域内の住民全体にこの施設を活用してもらいたいと思っているので、周知をしながらみなさんに協力をお願いしたい。

中央図書館：ゆかりの作家について、新たに移住された作家などもいると思われるので、今後掘り起こしを行う中で新たな企画を考えたい。

委員：2次交通事業の指標が周遊バス利用者数とあるが、これはどの周遊バスの利用者数を指すのか。

観光課長：鉢巻周遊リゾートバスの利用者数。

委員：鉢巻周遊リゾートバスは現在事業を行っているか。

富士見町企画統計係長：令和3年度から事業を廃止しており、現在は行っていない。

委員：他の委員から話が出たように、終了した事業についてはビジョンの中に終了の旨とその理由について記載した方がわかりやすいのではないかと。廃止した事業について、PDCAを回す中でその代替事業などがあれば進捗管理の中で検討し記載してはどうか。

事務局：廃止した事業については、それがわかるようにビジョンへ記載を行う。また、PDCAを回す中で新たに展開する事業があれば記載するなど、見やすく、わかりやすく資料を作成していきたい。

委員：鳥獣害防止対策合同会議について、指標が会議開催回数となっているが、会議の開催回数1回が達成できたかどうかではなく、野生鳥獣の頭数がどうか、ということの方が重要だと思う。実際に困っていることの解決に繋がる指標の方がよいのではないかと。この事業を一例に上げたが、検証方法の見直しを検討してもらいたい。

事務局：指標の設定及び事業効果の検証について、今後進捗管理の中で事業効果の評価を行いながら示していきたい。

・その他

- 北杜市事務局より「八ヶ岳定住自立圏主催 メタバース婚活イベント」「八ヶ岳ベーカーリー（パン）周遊キャンペーン」について説明
- 事務局より、ビジョンの変更について、本会議において指摘のあった点の修正を加え、会長に図った上で、県及び国に提出することを説明。

議事録署名委員 _____ 印

議事録署名委員 _____ 印